

障害幼児の交流教育における評価法の開発

—— コミュニケーション行動を中心としたチェックリストの試用による検討 ——

Development of a Rating Scale for Infants with Special Needs in Inclusive Education

浮穴 寿香*・橋本 創一**・工藤 傑史***・高野 裕美***
田口 悦津子***・渡邊 貴裕***・池尻 加奈子***
大伴 潔**・細川 かおり****

Yoshika UKENA*, Soichi HASHIMOTO**, Takeshi KUDO***, Hiromi TAKANO***
Etsuko TAGUCHI***, Takahiro WATANABE***, Kanako IKEJIRI***
Kiyoshi OTOMO**, Kaori HOSOKAWA****

教育実践研究支援センター**

要 旨

障害のある幼児が、交流学習場面で自分の獲得しているコミュニケーションスキルをどの程度発揮できているか、また交流学習を通してどう変化したかについて評価することを目的としたチェックリストの有用性と活用・発展の可能性について検討した。方法として、交流学習に参加した障害幼児への適用を通して検証した。その結果、具体的なコミュニケーションスキル項目は、子どもの変化やスキル発揮の安定性を追うことのできる項目として適していると示唆された。また、設定場面や自由遊び場面といった場面ごとの評価では、子どもの変化を追うことは難しいが、その日の活動を振り返る際には有用であると考えられた。一方、場面ごとのスキル発揮状況の違いを拾い上げることはできず、うまくやれている場面、うまくやれていない場面をみていくことはできなかった。支援と評価が一体化した評価スケールの開発を進めていくことが今後の課題といえる。

* The United Graduate School of Education, Tokyo Gakugei University

** Tokyo Gakugei University (4-1-1 Nukui-kita-machi, Koganei-shi, Tokyo, 184-8501, Japan)

*** Special Needs School Attached to Tokyo Gakugei University

**** Tsurumi Junior College